



梅島小だより

『構え』の大切さ

校長 江原 敦史

5月28日は本校の運動会でした。

天候にも恵まれ、無事終わることができました。

子どもたちは、心から楽しそうな表情で演技し、真剣なまなざしで競技に臨みました。

そういう子どもたちのすてきな表情を、保護者や地域の皆様と共有できることが、学校行事のすばらしさだと改めて実感いたしました。

今回の運動会には、多くの皆様のご支援・ご協力をいただきました。

朝早くからご協力いただきましたPTAの皆様、PTAソフトボールチームの皆様、多数ご参観くださいましたご来賓の皆様、保護者・地域の皆様、どうもありがとうございました。

この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

さて、5月の全校朝会で、「構えの大切さ」について話をしたことがあります。

次のような内容です。

「話を聞くときに、皆さんは何が大切だと思いますか。」

姿勢や話し手を見ることなどに気を付けている人は多いと思います。

また、先生方からもそのようにご指導いただいていることでしょう。

『話を聞く姿勢』は、とても大切です。『話を聞く姿勢』に気を付けるのは、『構え』を作るということなのです。

野球に例えると、バッターはボールをしっかりと打つためにバッターボックスで『構え』ます。守っている人も、ボールをしっかりと取れるように『構え』をつくってボールを待ち受けます。

話を聞くことも同じなのです。大切な言葉を逃さず、話の内容をしっかりと理解するために、話を聞く『構え』をつくるのです。

みなさんには、話を聞く『構え』をはじめ、いろいろな『構え』を今のうちにしっかりと身に付けることができるようにしてほしいと思います」



これからも、いろいろな『構え』を子どもたちが身に付けることができるよう、教育活動を着実に実施していきたいと思います。